

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 気候変動適応支援のための超高解像度全球河川防護データの構築
2. 研究代表者： 平林 由希子（芝浦工業大学 工学部 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、世界全域を対象として、河川の堤防の高さデータを数十m 格子ごとの超高解像度で構築することに挑戦し、それを用いることで、現在の河川堤防の位置および高さを反映した洪水ハザードマップを作成し、これまで適切なハザードマップの存在しない地域において、水災保険などを提案するための基礎情報を構築することを試みる研究である。フェーズ1では、超高解像度河川堤防データの抽出のための網羅的な文献調査を実施し、多くの国々の堤防情報を収集しており、高解像度の DEM データが得られる場所において河川堤防を抽出する手法の開発に挑戦したことは評価できる。

フェーズ2では、開発途上国や民間企業とのコネクションを構築した上で、挑戦的に推進する計画を考えている。堤防自動抽出システムにより、データ未整備な国や地域への発展も試みている。DEM データがない国、地域についても精度検証まで進めて、全球スケールでのハザードマップの作成という目的が達成されることを期待する。

以上